



平成 29 年 9 月 8 日

各 位

住 所 石 川 県 白 山 市 福 留 町 3 7 0 番 地  
 会 社 名 株 式 会 社 ウ イ ル コ ホ ー ル デ ィ ン グ ス  
 代 表 者 の 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 若 林 裕 紀 子  
 役 職 氏 名

(コード番号：7831 東証第二部)

問 い 合 わ せ 先 財 務 部 部 長 代 理 林 岳 志

電 話 番 号 0 7 6 - 2 7 7 - 9 8 3 1

(訂正) 「業績予想の修正に関するお知らせ」の一部訂正について

平成29年9月6日に公表いたしました「平成29年10月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり修正いたします。

## 記

訂正箇所（訂正箇所には下線を付しております。）

## 【訂正前】

## ●業績予想の修正について

平成29年10月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年11月1日～平成29年10月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	18,700	450	400	350	14.23
今回修正予想 (B)	16,000	100	110	<u>260</u>	<u>10.57</u>
増減額 (B－A)	△2,700	△350	△290	<u>△90</u>	
増減率 (%)	△14.4	△77.8	△72.5	<u>△25.7</u>	
(ご参考) 前期実績 (平成28年10月期)	12,907	109	△35	76	3.10

## 【訂正後】

## ●業績予想の修正について

平成29年10月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年11月1日～平成29年10月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	18,700	450	400	350	14.23
今回修正予想 (B)	16,000	100	110	<u>90</u>	<u>3.65</u>
増減額 (B－A)	△2,700	△350	△290	<u>△260</u>	
増減率 (%)	△14.4	△77.8	△72.5	<u>△74.3</u>	
(ご参考) 前期実績 (平成28年10月期)	12,907	109	△35	76	3.10

### 【訂正前】

#### 修正の理由

当社グループの通期連結業績予想は、売上高、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益ともに前連結会計年度実績を大きく上回る見込みです。しかしながら業績予想対比のセグメント別売上高については、情報・印刷事業において、書籍等に関する売上は順調に推移しましたが、期初からのチラシ等の従来型製品の需要の落ち込みに加え、今期新規稼働した設備による増収を見込んでいたデジタル印刷において、想定どおりの受注獲得に至っておらず、また一部顧客都合による受注時期の遅れもあり計画未達となる見込みです。また、メディア事業においても、期初計画においては、インターネットメディアの拡充を図ることによる増収を見込んでおりましたが、想定どおりの受注獲得には至っていません。さらに、知育事業においては顧客要望により当初予定の販売時期が遅れ気味に推移したことにより、当初計画の売上高を下回る見込みであります。また、利益面では知育事業の経費削減計画は順調に推移したものの、各セグメントの売上計画の未達及び情報・印刷事業の先行的投資による償却費の増加により、営業利益、経常利益ともに当初計画を下回る見込みとなりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益の計上により260百万円と当初計画を90百万円下回る見込みとなりました。

### 【訂正後】

#### 修正の理由

当社グループの通期連結業績予想は、売上高、経常利益ともに前連結会計年度実績を大きく上回る見込みです。しかしながら業績予想対比のセグメント別売上高については、情報・印刷事業において、書籍等に関する売上は順調に推移しましたが、期初からのチラシ等の従来型製品の需要の落ち込みに加え、今期新規稼働した設備による増収を見込んでいたデジタル印刷において、想定どおりの受注獲得に至っておらず、また一部顧客都合による受注時期の遅れもあり計画未達となる見込みです。また、メディア事業においても、期初計画においては、インターネットメディアの拡充を図ることによる増収を見込んでおりましたが、想定どおりの受注獲得には至っていません。さらに、知育事業においては顧客要望により当初予定の販売時期が遅れ気味に推移したことにより、当初計画の売上高を下回る見込みであります。また、利益面では知育事業の経費削減計画は順調に推移したものの、各セグメントの売上計画の未達及び情報・印刷事業の先行的投資による償却費の増加により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに当初計画を下回る見込みとなりました。

### 【訂正理由】

投資有価証券売却益において、現連結子会社が連結子会社となる以前に取得した有価証券（1銘柄）について、連結上は買収時の時価をもって取得単価とすべきところ、買収以前の取得単価で売却益を計算していることが判明いたしました。

(注) 上記の予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

以 上